

オープンダイアログ

フィンランド精神疾患治療法 講演会とシンポジウム 15日、豊島・東京総合美容専門学校 / 東京

毎日新聞 2016年10月3日 地方版

フィンランドで実践されている精神疾患の治療法「オープンダイアログ」の講演会とシンポジウムが15日午後2時、東京総合美容専門学校（豊島区南池袋2）で開かれる。提唱者のユバスキュラ大学教授、ヤーコ・セイックラ氏がテレビ電話を通じてディスカッションにも加わる。

オープンダイアログはフィンランドで1980年代に開発、実践された統合失調症の治療法。薬物投与や入院といった手段を使わないことが大きな特徴だ。患者と主治医だけでなく、家族、友人など患者を取り巻く人々が集まり、対等に意見を述べたり話を聴いたりする「開かれた対話」をほぼ毎日続ける。

日本でも関心が高まっており、主催する公益社団法人青少年健康センターの時盛昌幸事務局長は「日本で根付くためにはどうやったらうまくいくかと考える場にしたい」と話している。

第1部ではセイックラ氏が海外での応用事例を紹介。第2部は精神科医や臨床心理士ら専門分野の異なる3人によるパネルディスカッションがある。参加費は6000円。問い合わせは同センター（03・3947・7636）。メールアドレスはevent@skc-net.or.jp

【谷本仁美】

〔都内版〕